

わが街で暮らす

諏訪市地域医療・介護連携推進センター
ライフドアすわの取り組み

地域包括ケアシステムを支える人々

もしもみなさんが認知症になったとき、どんな生活を望みますか。おそらく多くの方が、認知症になったとしても、今と近い状態の生活を続けたいと思うのではないのでしょうか。これを実現するために期待されているしくみが「認知症サポーター」と「チームオレンジ」です。今回はこのしくみについてご紹介いたします。

まず、認知症サポーターとは認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく見守る「応



援者」のことをいいます。特別な資格は必要なく、1時間30分の認知症サポーター養成講座を受講していただくことで、誰でも認知症サポーターになることができます。諏訪市内でもこれまでに四千人を



認知症に関する研修会の様子

諏訪市社会福祉協議会 福祉係 武居 弘大

「見守る」から更なるステップへ

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して

超える方が講座を受講しています。そして、近年、認知症の方や家族を見守るだけでなく、認知症の方にとってやさしい地域をつくらせていこうという動きが生まれてきました。そ

の実現に必要なのが「チームオレンジ」です。「チームオレンジ」では地域の中で「認知症本人、その家族、認知症サポーターや専門職などがかり、普段の見守りに加えて、困りごとのサポート」を

あります。令和5年2月21日には認知症サポーター養成講座を実施する講師役と認知症サポーターを対象に研修を開催しました。この研修において、認知症の方と共に活動しているサ

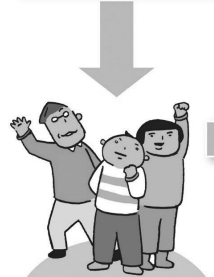
ロンの方々にお話を伺いましたのでご紹介いたします。大和地区には20年来の仲間が集まっているサロンがあります。参加者の中には一人、認知症の方がいます。この認知症の方も交えてサロンを楽しんでいます。「Aさんにはずっとお世話になっていたし、昔からの仲間として関わっている。Aさんは時間を忘れてしまうこともあつたりはするけれど、サロンの時には迎えにくくの。これまでの関わりと同じだし、特別なことはしていない。」とメンバーの皆さんは口を揃えます。これまでに築いてきた日頃の繋がりや支え合いが認知症の方を支えるチームオレンジになり得る一つの例だと感じました。今後諏訪市も認知症の方は増えてくると見込まれています。ライフドアすわ・地域包括支援センター・諏訪市社会福祉協議会、そして地域の皆さんと協力することで誰もが安心して暮らせる街をつくりたいと思います。

(毎月第2日曜日掲載)

チームオレンジのイメージ図
出展「チームオレンジ運営の手引き」

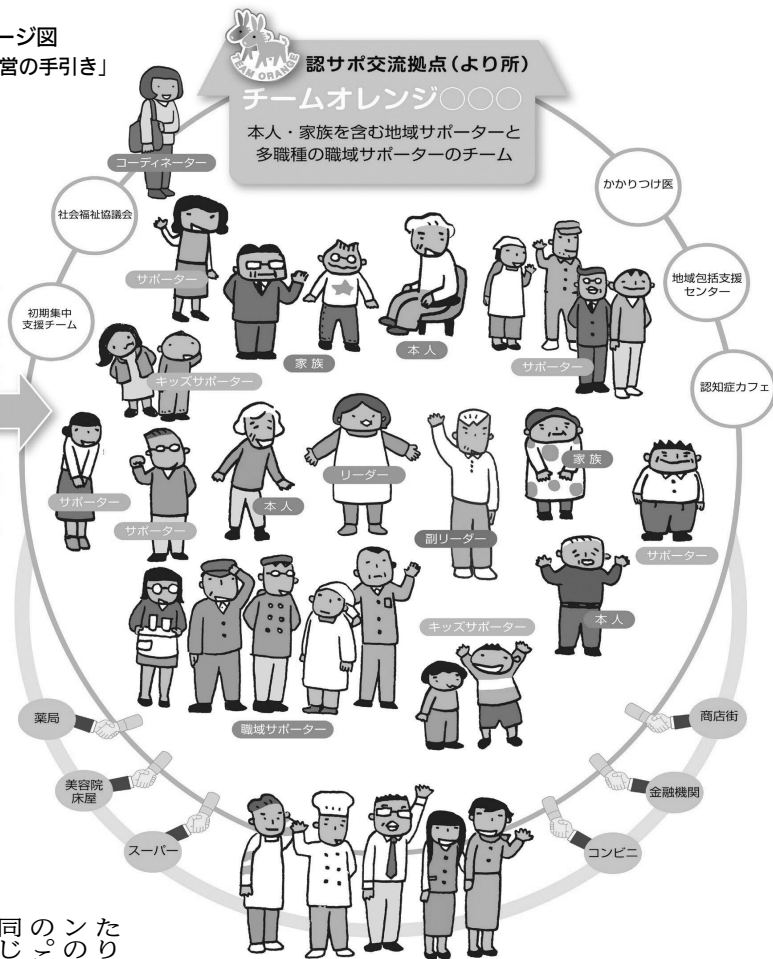
【実施主体】
市町村認知症サポーター
キャラバン事務局

ステップアップ講座



認知症サポーター

チームオレンジのメンバーへ



朗の方々に話を伺いましたのでご紹介いたします。大和地区には20年来の仲間が集まっているサロンがあります。参加者の中には一人、認知症の方がいます。この認知症の方も交えてサロンを楽しんでいます。「Aさんにはずっとお世話になっていたし、昔からの仲間として関わっている。Aさんは時間を忘れてしまうこともあつたりはするけれど、サロンの時には迎えにくくの。これまでの関わりと同じだし、特別なことはしていない。」とメンバーの皆さんは口を揃えます。これまでに築いてきた日頃の繋がりや支え合いが認知症の方を支えるチームオレンジになり得る一つの例だと感じました。今後諏訪市も認知症の方は増えてくると見込まれています。ライフドアすわ・地域包括支援センター・諏訪市社会福祉協議会、そして地域の皆さんと協力することで誰もが安心して暮らせる街をつくりたいと思います。